



SQA 会報

第1号 2007年7月5日

発行： 埼玉県経営品質協議会
事務局

〒330-9626

さいたま市大宮区桜木町1-7-5

ソニックシティビル8階

さいたま商工会議所内

TEL 048-641-0084

FAX 048-643-2720

E-Mail info@sqa.net.jp

①受賞企業から学ぶ会 コーディネーターは堀治人氏

1	7月3日(火)	㈱伸光堂西部販売	新聞専売所
2	8月7日(火)	ハリマ産業㈱	ふすま製造
3	9月4日(火)	㈱松崎マトリクステクノ	ニット編機等製造販売
4	10月(訪問)	㈱向瀧	旅館
5	11月6日(火)	㈱ハンズワタベ	住宅建築・リフォーム

13:30~17:00 一部予定のものもあります。

受講料：1万円(訪問費用は別途)・交流会費2千円、定員20名

②組織プロフィール実践会 コーディネーターは寺沢俊哉氏

1	7月11日(水)	理想を描く	4	8月20日(月)	経営資源認識
2	7月26日(木)	顧客認識	5	9月10日(月)	変革認識
3	8月9日(木)	競争認識	6	9月25日(火)	事業計画に

18:00~21:00 定員30名

受講料：会員1名5千円、2名目から3万円、交流会費2千円

③経営品質ワークショップ コーディネーターは寺沢俊哉氏

1	7月11日(水)	CSとESの同時実現に向けて
2	8月9日(木)	顧客とのコミュニケーション
3	9月10日(月)	仲間とのコミュニケーション
4	10月9日(水)	自分とのコミュニケーション
5	11月16日(金)	未来とのコミュニケーション

13:30~17:00 定員30名

受講料：会員1名5千円、2名目から3万円、交流会費2千円

④エグゼクティブ・ビジネススクール 講師は水町浩之氏

1	7月24日(火)	成功する企業の要件
2	8月7日(火)	どうすれば革新を生み出されるのか
3	8月21日(火)	経営革新と人材育成
4	9月4日(火)	革新におけるリーダーシップ
5	9月18日(火)	経営革新と経営品質
6	10月2日(火)	優れた経営に学ぶ

10:00~17:00 定員10名

受講料：15万円(昼食代込)

新しいメニューが目白押し

平成一九年度研修プログラム

① 本年度は内容をさらにバージョンアップしたプログラムになっています。

受賞企業から学ぶ会
関東各地の受賞等を受賞した元気な企業のトップを講師に招き、事例を学んでいただきます。

② 組織プロフィール実践会
短期集中型で組織プロフィールの作成をします。

③ 経営品質ワークショップ
経営品質の基礎とコミュニケーションの大切さを学びます。

④ エグゼクティブ・ビジネススクール
若手経営者・次世代経営幹部予定者を対象としたコースです。
地元埼玉が故郷の講師陣が愛する埼玉の発展のために素晴らしいプログラムを用意しています。途中からの参加も歓迎です。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

過去の参加者の声
・ お客様との心と心の結びつきをするためにいろいろなことをやっていることに感動しました。
・ 自分の考え方により、自分の周りが満足しているのか不満に感じるのか、二つあることに気づきました。
・ わが社の価値観について今一度考える必要があると感じました。

代表幹事に阿部忠氏

運営委員長に矢内俊二氏

五月二十九日(火)さいたま商工会議所会館で二〇〇七年度通常総会が開催されました。二〇〇六年度事業報告、収支決算報告、規約改正(副会長・幹事・運営委員の増員)の審議の後、役員改選が行われ、新たに代表幹事に阿部忠氏、副代表幹事に齊之平伸一氏、副代表幹事兼運営委員長に矢内俊二氏が選任されました。原宏前代表幹事は顧問に就任しました。
二〇〇七年度事業計画(案)、収支予算(案)についても審議され承認されました。

人材育成のための教育の強化を



矢内新運営委員長

矢内新運営委員長

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび委員長に就任いたしました矢内でございます。大役を仰せつかり微力ではございますが、経営品質活動の拡大に向けて、努力していく所存でございます。ですのでよろしくお願い申し上げます。

方針について会員の皆様に報告させていただきます。先日アンケートをもとに左記の基本方針を策定し、取り組んでいく所存でございます。この基本方針の実現に向けて、以前からの部会を集約し新たに、「人材育成部会」「会員交流部会」「総務・運営部会」「審査・コンサル部会」を

四つの教育コースを用意

人材育成部会

経営活動の大切なポイントに気づき、改革活動を推進して頂ける様な教育コースを開催いたします。プログラムは以下の4つからなっています。①「受賞企業から学ぶ会」：夫々の特徴のある素晴らしい企業を学びながらCatの考え方が分かっている入門コース。②「組織プロフィール実践会」：経営にとって一番大切な組織プロフィールを理解し、ご自分で大まかに書けるコースです。

この書いて行く事が経営を行う方々にとって大変役に立ちます。③「経営品質ワークショップ」：各社の推進担当者、実行者を対象としてコミュニケーションの大切さや人を引き付ける力等を身につけていくワークショップ。④「エグゼクティブビジネススクール」：次世代経営者の方などを対象にした経営革新の実践について学ぶコースです。皆様のご参加をお願い致します。

- ① 人材育成を目的とした人材教育の強化
- ② 経営品質活動の拡大を目的とした県内各地での講演会の開催
- ③ 会員各位とのコミュニケーションを目的とした広報誌の発行

県内各地でトップセミナー開催

会員交流部会

二〇〇七年度がスタートして、当協議会の事業内容が見直しされ、新たな会員交流部会は、トップセミナーの開催(3~4回/年)を通して多くの皆さんに経営品質向上プログラムの素晴らしさをご理解いただき、会員・非会員問わず、経営品質向上活動のきっかけとなり、取組む企業が増加し、埼玉県内の中小企業と当協議会の活性化を図ります。

この反省を踏まえて、参加企業のフォローアップを積極的にを行い、県南西部が中心であった活動を県北地区にも広めて、会員数の増加に繋げて参ります。また、他県の経営品質協議会との情報交換会の開催、ベンチマーキングを実施するとともに、県内の卓越した企業に活躍の場、紹介の場を提供し、会員相互の交流を深めて参ります。

従来、各行事のフォローアップが十分行われていない

④ コンサル機能強化による推進賞、受賞受審企業の増加

そして本会初の「知事賞」受賞企業が誕生することを強く念じております。会員の皆様におかれましては、当会の活動にご理解を賜り、積極的な参画をお願い申し上げます。

誰が変化を主導するのか

（株）サトー 藤田東久夫会長兼 CEO
 埼玉県経営品質賞基調講演要旨 1

埼玉県経営品質賞表彰式で（株）サトーの藤田会長兼 CEO、博士（学術）Ph.D. にご講演をいただいた。ご講演の要旨をご紹介します。

「私のリーダーシップを支えた三行提報制度」

企業家とサラリーマン・ミドル&経営者の違いの特徴的なものは次の通りである。企業家は会社を賭けて仕事しサラリーマンは自分を



藤田東久夫（株）サトー会長

賭けて仕事をする

企業家は同じことを繰り返して言うがサラリーマンは一度言えば済むと考える。企業家にとって経営理念はものすごく大切であるが、サラリーマンにとってはどうでもいい文言の羅列である。

経営の変遷

天邪鬼経営（一九九一〜二〇〇〇年）を行った。世間と違うことをやり、同じことなら一足先にはじめるということである。つぎに変化をもとめる経営（二〇〇〇年以降）に入った。その時期の施策の主要なものを挙げると、年俸制の導入、役員交際費の廃止、開かれた総会、役員長期休暇制度、玉石混交の人事（だめそうな社員の採用）などである。今考えている小さな変化は、交流会手当て（小さな変化）↓社外人材との交流奨励↓外部人材の発掘は全員の仕事↓大企業病（人材の発掘は人事部の仕事と考える）の回避（大きな変化）である。

年3回広報紙を発行

総務・運営部会

埼玉県経営品質協議会（SQA）では二〇〇七年度を迎えるにあたり会員アンケートを実施しました。アンケートの結果、情報発信が非常に弱いと感じられている会員が多くおられることがわかりました、そこで、協議会運営委員会が新しい体制になったのを機に広報を強化することになりました。

審査プロセスの改定

審査・コンサル部会

具体的には、広報紙を年3回発行して、トップセミナー、「受賞企業から学ぶ会」、「組織プロフィール実践会」、「経営品質ワークショップ」、「エグゼクティブ・ビジネススクール」などの活動状況を報告していくとともに

に、会員企業の経営品質への取り組み状況の紹介なども行っていく予定になっています。ホームページも、各事業担当の運営委員が中心となって更新していくような仕組みを作っていく、いつも新しい情報でいっぱいのものにしていきたいと考えています。会員さんがSQAの事業に「参加したい」と思ってくれるような情報提供の仕方を工夫していきたいと思えます。

変化を起す条件とは

トップのための創発インフラ作り↓社員との日常不断のコミュニケーションの仕組みを作る。朝令暮改を可能にする仕組み↓フィードバックループの確立。変化を起した結果が速やかに分れば次の手が打てる。誰が変化を主導するのか？ ↓トップリーダーが主導する。中間経営層は自分を賭けているので、会社が順調なときは、変化を起しにくい。（次号へ）

二〇〇七年三月二十七日
 埼玉県経営品質賞表彰式基調講演会にて

- ① 申請ガイドブックの配布と公募
- ② 申請企業の資格確認と申請受理
- ③ 判定委員会・賞委員会の企画
- ④ 受賞企業報告会の開催企画
- ⑤ 推進アドバイザーの派遣

1. 申請応募書（資格確認書）の提出後、1週間以内に説明会を開催する。
 2. 申請書（経営品質活動書）の提出期限を延長し、記述を50ページ以内とする。
 3. 推進賞を目指す企業に対しては、埼玉県経営品質協議会に依頼することにより、組織プロフィールの記述をアドバイスする専門の推進アドバイザーを派遣する。
- 多くの企業が埼玉県経営品質賞にチャレンジされることを願っております。

組織プロフィールの記述で得られたものは？

推進賞受賞6社によるパネルディスカッション

第4回2006年度埼玉県経営品質賞受賞企業報告会が5月29日（火）さいたま商工会議所会館で受賞企業の幹部や推進担当者の方々はじめ、日ごろから経営品質向上活動に関心のある企業、団体関係者等合わせて約200名

が参加し盛大に開催されました。今年は残念ながら埼玉県経営品質賞 知事賞及び奨励賞は「該当組織なし」という結果でしたが、推進賞には6社が受賞されました。

報告会は前半後半各45分ずつで、3社1組となり経営品質向上活動の着手から受賞までの流れを振り返っていただきました。



コーディネーターを務めていただいた埼玉県経営品質賞判定委員会委員 堀治人氏は、「推進賞を6社が受賞したことは他県と比較しても非常に多くて素晴らしい」という感想をいただきました。

続いて同氏から受賞企業代表の皆様に、

◆ 経営品質向上プログラムによる経営改革をやってみようと思われた動機は何か

◆ 組織プロフィールの記述で得たものは何か

◆ 次の改革について何を行うか

などのテーマがだされ、皆様緊張しながらもその活動で得られた成果に自信を持って話されていました。推進賞受賞企業様には知事賞へのさらなる取り組みを期待します。

受賞された企業の組織プロフィールからほんの一部を下記にご紹介します。

また、当日「良い会社づくりは『社長の哲学』と『対話』から」というテーマで、福井キャノン事務機(株) 木野社長の基調講演がありました。(要旨は次号掲載)

三矢精工株式会社

代表取締役社長 高橋尚樹

経営ビジョン

『“見えない製品” に三矢の誇りをこめてお客様と社会に貢献できる企業であり続ける』

医療法人誠昇会

北本共済病院

理事長・院長 武並麗

病院開設にあたり、創始者が掲げた経営哲学は次のとおり

1. 患者様の立場にたった医療を行います。
2. 診断から社会復帰まで責任を持った医療を行います。
3. 地域医療の一端を担います。
4. 医療の向上に努めます

これらをトータルに具現化する地域住民への密着した医療サービスの具体的なイメージとして、住民ひとりひとりをよく理解し生涯に渡った健康とやすらぎを保証する個別的でクオリティの高い医療サービスの提供ができることを理想像として描いてゆく。

医療法人財団献心会

川越胃腸病院

理事長・院長 望月智行

「医療は究極のサービス業である」との信念から、高度な医療技術と人間性尊重のサービスを追求してきた過程で醸成されてきた「ひと満足の好循環スパイラル経営」によって、「職員と病院が共に生き、共に創る組織」という理想の姿を目指しています。

賛光精機株式会社

代表取締役 清水崇司

賛光精機の経営理念

- I 優れた製品を供給し社会の進歩と信頼に応える
- I 全従業員の生活の向上と礼を重んじた人材育成に努める
- I 総合技術力を展開し顧客とともに企業成長をはかる

株式会社テルミ

代表取締役社長 高田龍美

当社はお客様から見て、なくてはならない会社、なくなったら困る会社になるために、同業他社ではやりたがらない仕事や、お客様の困ったことを解決する企業になること。そうなることで、代々にわたってお客様と離れられない関係ができ、継続企業として理想的な姿になります。

株式会社タカヤマ

代表取締役社長 齊藤吉信

- ・有機善循環企業を目指します。有機廃棄物を原料とした肥料、飼料、エネルギー、燃料等を取り出す地域貢献型の構築。有機農業に関わる事業への進出及び参画を通して地域活性を促す。
- ・当社独自の【人戦略、営業戦略、財務戦略、成長戦略】を確立することを目指す。タカヤマ経営スタイルの確立。
- ・経営スタイルを明確に社員に示し会社が掲げる理念、ビジョン、方針を働く者全てが共有し同一のベクトルで社業に邁進する
- ・タカヤマ経営姿勢を基に経営品質向上と人材育成に邁進する。